

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年2月25日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893100032		
法人名	株式会社 スマイルタウン		
事業所名	グループホーム スマイルタウン	ユニット名	Aユニット
所在地	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3968-2		
自己評価作成日	平成21年7月7日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
-----------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年8月26日	評価確定日	平成21年12月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>笑顔のある町づくりをして社会貢献したいという想いから「スマイルタウン」が誕生。 職員の子連れ出勤を認め、利用者の中で一緒に過ごしている。 小さい子供がいることで、利用者に活気が生まれ、子供連れの家族の面会も増え笑顔も増えた。 管理者、職員は利用者一人ひとりの意向や希望を大切にし、その人がその人らしく暮らせるよう支援を行っている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者は利用者一人ひとりの尊厳を大切に考え、利用者の抱えているものを把握したうえで支援ができるよう職員を教育している。 管理者や職員は利用者一人ひとりの意向や希望を大切にし、その人らしく暮らせるよう支援している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議等で理念の実践に向け、話し合い・確認し、日々の業務に取り組んでいる。  理念を玄関に掲示している。	地域密着型サービスの意義を全体会議で話し合い、利用者が住みなれた地域で安心した生活が継続できることを旨とした理念をつくるとともに、共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所としての取り組みでは現在行っていないが、近隣の隣接する農家の方々や民生委員等との交流は行っている	夏祭りなど地域行事に積極的に参加している。 管理者は保育園の父母の会の役員を務め、地域との交流に一役かっている。 近隣の農家の方々や民生委員、区長との交流もしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状では行ってはいないが、近隣の保育園との交流などを検討している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年6月よりホーム内にて感染症が発生しており、感染防止の意味も含めて運営推進会議としては報告、話し合いを行ってはいないが、毎月発行の広報誌・面会時・訪問時などを利用して報告や意見聴取を行っている	昨年6月にホーム内で感染症が発生し、感染予防の意味も含めて運営推進会議は開催していない。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、サービスの質の向上に活かすことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町の担当者とメールや面談等で連絡を密にとり相談している。	町の担当者とメールや面談で連絡を密に取り、問題点を相談している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内に身体拘束に関するポスターを掲示し、ご家族・スタッフ双方より意識向上に努めている	管理者や全職員が玄関の施錠を含め身体拘束の弊害を理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。 近所の人々にも理解を求め見守りや声かけ、連絡をしてもらえる関係を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は研修などを利用して情報収集し、事業所内外について虐待が発生しないように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などを用いて学ぶ機会を設けている。また、町の福祉課とも連携を取りながらご利用者様の権利保護を支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学時から質問などには対応している。さらに契約は必ず管理者が行い、不安や疑問点の確認をしている。また、不安や疑問点については随時受付を行い、より深く理解・納得を頂けるように努力している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月全体会議を開催しており、その際に全体に伝達や反映の可能性を検討している。また、必要な場合には地域との調整が出来るように準備している	玄関に意見箱を設置している。管理者や職員は日常のふれ合いの中で利用者から希望を聴いたり、家族等からは訪問時に意見や要望を聞くよう努めている。出た意見や要望は管理者や職員で話し合い運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議を利用し反映の可能性を検討している	管理者は毎月の全体会議で職員の意見や提案を聞く機会をつくり、運営に反映させている。管理者は職員の事情を組み入れ、働きやすい職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	協会などを利用し他ホームの現状との照らし合わせなどを行うと共に職員のスキルアップに繋がるように資格手当の賃金アップなどを行っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外研修の取り組みなどを行いスキルアップにつながる様に配慮している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	協会や個人的な付き合いを活用し他事業所（サービス種類を問わず）交流し、サービス向上につながる様に努力している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査時を活用し情報を集めた結果を活用して入所時に不安が軽減できるように心掛けている。また、入所後1ヶ月はバイタルサインや心身の状態観察に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時や契約時・面会の際などを利用して情報収集に努め解決できるように心掛けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	緊急入所や病院受診・美容室などフォーマル・インフォーマル問わずに対応出来るものは対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物や雑貨の整理など残存機能を残すことの出来るように支援し、お互いに共同生活を行っている事が理解できるご利用者様には支援している		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族参加型の食事会を開催し、その際にご家族とご利用者様にも料理の手伝い等を行って頂いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	食事会などを開催し定期的に面会に来て頂く機会を作っていると共に本人や家族の希望がない限り面会時間に限らず面会や外泊・外出又はホーム内へのご家族の宿泊を行っている	利用者や家族等の意見や要望を聞き、これまでの生活が継続できるよう努めている。 利用者の家族等との関係や地域との関わりを理解し、希望にそって関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者間で喜怒哀楽はあるが、それぞれが他方に係わり合いを持っている		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたご家族様から連絡を頂いたり、訪問したりする事もある		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自室にテレビ・ソファ・ベッドや布団などご利用者の希望になるべく添った形状にしている。また、食生活や日常生活における希望や意向などにも対応出来るように心掛けている	職員は利用者の日々の行動や会話、表情などから思いや意向の把握に努めている。 話すことが困難な利用者の場合は家族等に聞くなどで支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査時やご家族の面会時などを活用して情報収集に心掛けている			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事前調査時やご家族の面会時などを活用して情報収集に心掛けている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事前調査時やご家族の面会時などを活用した情報やカンファレンスを基にして作成・実行している	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を聞き、職員で話し合い作成している。 定期的な見直しのほか、利用者の状態に応じて迅速に介護計画の見直しを行うよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	事前調査時やご家族の面会時などを活用した情報やカンファレンス・全体会議を基にして作成・実行している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力関係機関以外でも、本人や家族の希望する医療機関との連携や散髪などへの支援など多機能なサービス展開を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要な場合には包括支援センターや町福祉課などに相談し権利を全う出来るように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力関係機関以外でも、本人や家族の希望する医療機関と連携し、受診支援を行っている。	利用者や家族等の意向を確認し、希望する医療機関の受診を支援している。 かかりつけ医への受診は家族等に対応してもらうこととしているが、状況に応じて職員が通院の支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は入居者の全身状態を常に把握し、情報の共有を行い、看護職員に報告、指示を仰いでいる。  看護職員は適切な判断を行い、医療機関との連携を図り、体調不良時は速やかに受診できるような体制を整えている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>スムーズな入退院の支援が行えるよう、医療機関と常日頃より連携を図りながら、情報提供や情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関や往診可能な診療所との関わりが出来ることの説明やホーム内に看護師が勤務していること・終末期をホームで迎える事が出来る事を説明しておき、必要になった場合に詳細を説明するようにしている</p>	<p>事業所はこれまでに看取りの経験があり、重度化や終末期に向けた指針が作成されている。</p> <p>利用契約時に看取り介護に関する指針を説明するとともに同意を得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全体会議や勉強会などを利用して研修を行っている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全体会議や勉強会・消防訓練などを利用して研修を行っている</p>	<p>事業所独自の避難訓練は実施しているが、消防署立ち会いのもとで実施するまでには至っていない。</p>	<p>消防署立ち会いのもと様々な災害や発生時間を想定した避難訓練を実施することが望まれるほか、近隣の人々の協力を得て避難訓練が実施されることを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全体会議や勉強会・カンファレンスなどを活用して対応できるようにしている	利用者一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応をしている。 個人の記録等の取り扱いは人目に付かないよう配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全体会議や勉強会・カンファレンスなどを活用して対応できるようにしている			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体会議や勉強会・カンファレンスなどを活用して対応できるようにしている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	全体会議や勉強会・カンファレンスなどを活用して対応できるようにしている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全体会議や勉強会・カンファレンスなどを活用して対応できるようにしている	管理者や職員は利用者の一番の楽しみは食事であると考え、味付けや見た目に工夫をして調理している。利用者のできる範囲で食事の後片付けを職員と一緒にしている。毎月1回家族等と一緒に流しそうめんや手打ちうどん、お好み焼などの食事会を行い、利用者の楽しみとなっている。事業所の畑で採れた食材を調理することも利用者と職員の話づくりで役立っており、楽しみの一つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の水分チェック表を活用し不足や飲水困難な場合にはトロミ剤やゼリーを活用し十分な水分摂取が出来るように支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者様に口腔ケアを促し個別の方法により支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄チェック表を利用し排尿・排便のリズムを把握できるように心掛けている	排泄チェック表を活用し利用者一人ひとりの排泄のリズムを把握するとともに時間を見計らって誘導するなど、トイレでの排泄の支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食物繊維などを活用して対応しているが、内服等を使用する場合もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現状では時間帯が決まっている状態ではあるが回数等の制限を持たずに行っている	入浴は1日おきに週3回午前中と決っており、利用者一人ひとりの希望にそった入浴支援をするまでには至っていない。	入浴は利用者や家族等から一人ひとりの習慣や好みをよく聴き、相談しながら希望にそった支援をすることが望まれる。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室にテレビ・ソファ・ベッドや布団などご利用者様の希望になるべく添った形状にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師・主治医と連携を取りながら支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケ・洗濯・園芸など個別の趣味に対応出来るように支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望をご家族に伝えホームで対応できる事は対応し、出来ないことはご家族に依頼を行っている	利用者は日常的な散歩のほか庭や畑、ウッドデッキに自由に入出入りし気軽に日光浴を楽しんでいる。 買物などは利用者の希望にそって家族等の協力を得ながら支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所内にて管理を行っているも、ホーム内の自動販売機などご利用者様の希望により使用できるように支援している		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族→ご利用者様・ご利用者様→ご家族などでの手紙や電話のやり取りなどの支援を随時行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様にとって心地よい空間になるように心掛けている	リビングに続いて一段高いところに床の間を配した和室があり、利用者が落ち着ける場所となっている。 居間からは季節の野菜が採れる畑が見え、利用者と職員の作業や収穫を共にする場を見ることにより、五感を刺激したり季節の移り変わりを感じさせ、利用者は居心地よく過ごしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂・談話室・居室・ウッドデッキなどを利用して対応している	/	/
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた小物やタンス・衣類などを使用して頂き心地よい空間になるように心掛けている	利用者は自宅で使用していた小物や箆笥を持ち込んだり、家族等の写真を飾るなどで居心地の良い居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご理解頂ける方には役割を持って頂き役割を全うして頂いている	/	/

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームスマイルタウン

作成日 平成22年1月26日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	昨年6月にホーム内で感染症が発生し、感染予防の意味も含めて運営推進会議は開催していない	感染予防をしながら運営推進会議を開催する	感染予防 ・開催場所の検討 参加者の感染予防 ・マスク等の使用	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。